別海町立上風連小学校　学校だより

上　風　連　の　子

No.5　平成26年7月25日（金）　発行責任者　校　長　菊　地　祐　一

学校ブログのアドレス　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ａｕｒｅｎｓ．ｏｒ．ｊｐ／ｋｉｄｓ／

習慣が変われば、人格が変わる

上風連小学校長　　菊　地　祐　一

ついこの間、入学式を終えたばかりだと思っていたのに、明日からは夏休み。本当に時の過ぎるのは早いものです。（特に年を取ると余計にその速度は増すようです。意外に子ども達は時の早さを感じてはいないようですが・・・。）

いろいろなことがあった今年の１学期でしたが、それぞれの活動の中で一人ひとりが自分の目標に向かって確実に歩を進めた１学期でもありました。
昨年の学校便りで学校が何故３つの学期に分かれているのかを書きましたが、１学期は「しつけ直しから基本への確立」の時期です。２学期の「充実期」や３学期の「発展」へと繋いでいくための大切な学期です。しつけ直しから基本という意味では、「挨拶」「返事」について重点的に昨年から取り組んできましたが、徐々に改善の兆しは見えてきています。しかしまだまだ十分とはいえません。子どもは「形」から学ぶとも言われています。何気ない普段からの習慣が人格にまで関わることがあるのです。

元ニューヨークヤンキースの松井秀喜氏が現役時代に帽子のひさしの裏に次のような言葉を書いていたそうです。

『心が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。
習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる』
（アメリカの心理学者・哲学者ウィリアム・ジェームス）

つまり、普段の習慣を変えることで、人格まで変えてしまうというのです。「挨拶」や「返事」という、何気ない行動がしっかりとできる子供は、人格形成にも影響してきます。相手を思いやるような心が育っていくと、友達に対しても優しく手を差し伸べる行動が無意識に出てきます。そんな行動が見えてきた時こそ、習慣を見直すチャンスなのです。挨拶や返事はもちろんのこと、学習・生活の習慣を基本から見つめなおす絶好の機会となるのです。

明日から２６日間の夏休みに入ります。休みの大半は家庭で過ごすことになります。どうしても、生活のリズムが崩れがちになりますが、家庭で過ごすときこそ、自分の意志で生活をする習慣を身につけなければなりません。行動を変え（就寝と起床時刻の徹底、家の手伝い、自由研究や学習を計画的に行う等）それを習慣化することで子供たちは変わってきます。子供たちが一回り大きくなって学校に戻ってくることを願い、４８名の元気な顔と２学期の始業式にまた会えることを楽しみにしています。
１学期に学校へ寄せていただいたご理解とご協力に深く感謝しております。
ありがとうございました。